

## 乳がん検診

### ★検査方法の選択について

マンモグラフィは概ね40歳以上の方に有効とされています。20～30歳代の方は乳腺が発達していて「しこり」との区別がつきにくいいため、マンモグラフィは適していません。超音波による乳房エコー検査をお勧めします。

### エコーとマンモグラフィ

比較項目	エコー検査	マンモグラフィ
被爆(X線撮影)	無し	極微量あり
痛み	無し	伴うことがある
腫瘍性病変(しこり)	<b>得意</b> 良性のしこりか乳癌の疑いがあるのか、1cm以下でも見分けやすい。	<b>不得意</b>
石灰化病変(カルシウムの塊)	<b>微小石灰化の発見は難しい</b>	<b>微小石灰化も得意</b> 微小な淡い石灰化像をX線で写しだすことができるため腫瘍になっていない0期の乳がんも発見できる。
抽出力	しこりの内部まで見えるので、種類がある程度わかる。 病変部分を焦点観察しやすい。	乳房全体を細かく観察しやすい。 焦点抽出は難しい。
検査の有効性と適齢期の関係	マンモグラフィ検査と違って、乳腺密度が高い閉経前の女性にも有効。	閉経前の方は、乳腺密度が高く白っぽく映り、抽出力が低下するのでお勧めしません。 柔らかく、乳腺密度が低い閉経後の方に比較的有効とされています。

## 子宮がん検診

検査種類	検査目的
子宮頸部細胞診	膣がんや子宮頸がんの発見に役立ってます。
子宮体部細胞診	50歳以上の子宮体がんハイリスク群には、がんの発見に有用です。
経膣エコー	卵巣の状態もチェックできます。